

9 - 7 九州地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kyushu District

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は、島原半島西部を南北に走る路線における水準測量の結果である。路線の中央部付近がやや隆起している。

第2図は、小浜町から国見町を経て島原市に至る島原半島を横切る路線における水準測量の結果である。前回の観測と同様、今回も島原半島中央部の隆起を示唆する結果が得られている。

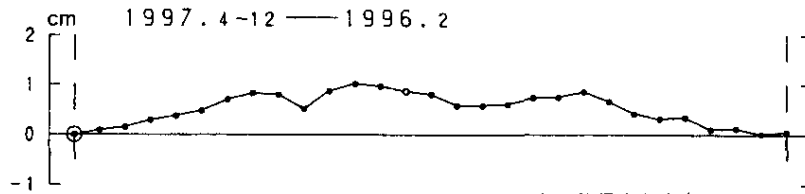
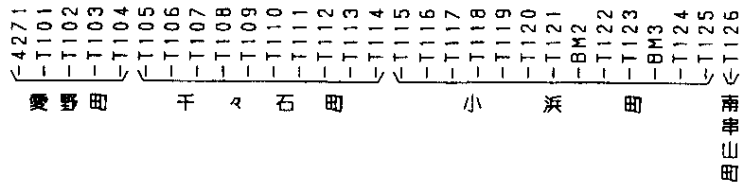
第3図は、島原半島東部沿岸沿いを走る水準測量の結果である。この路線では、特に変動は現れていない。

第4図は、有明海周辺の験潮場における月平均潮位差である。特別な変動はない。

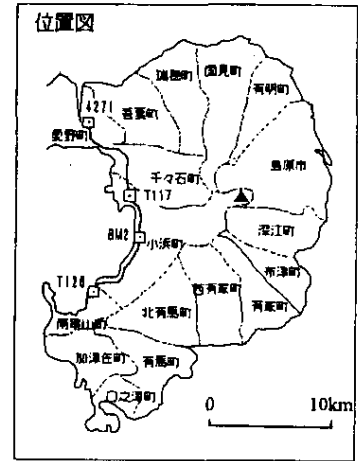
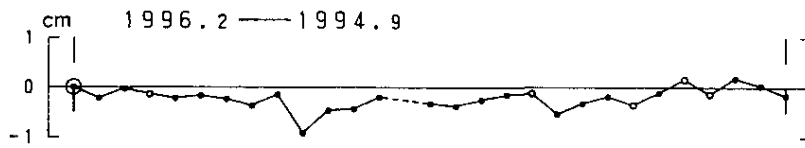
第5図は宮崎地区機動観測結果である。1998年と1995年の比較から、東西方向の一様な伸長傾向が見られるが、1996/10/19 及び 1996/12/3 の2つのM6.6の地震に伴う地殻変動を反映していると考えられる。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，53(1995)，616-627.
- 2) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，57(1997)，665-674.
- 3) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，58(1997)，638-652.
- 4) 国土地理院：九州・沖縄地方の地殻変動，連絡会報，59(1998)，592-53.

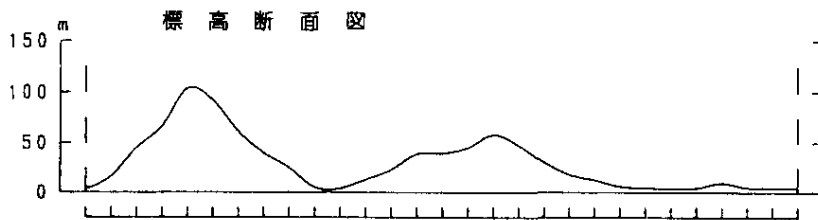


※ 白又キは改埋点を示す。
1997.4~使用成果は
現地観測値による。



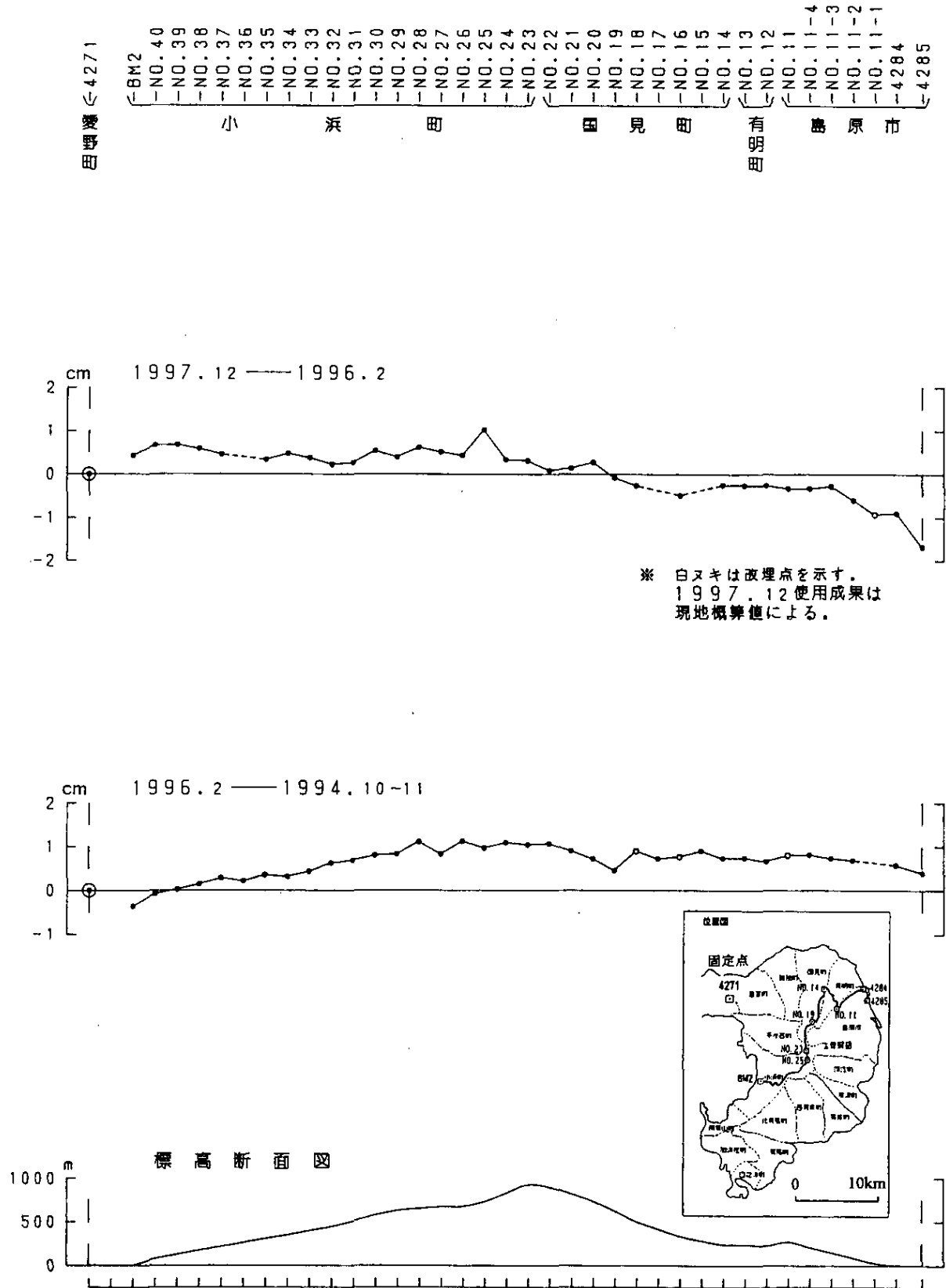
1997年の4271～T117、BM2～T126間の観測は大学連合班による。

1994年9月観測は大学連合班による。



第1図 島原半島の上下変動(1)

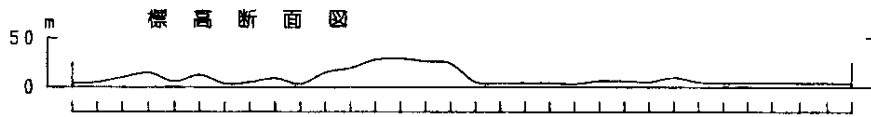
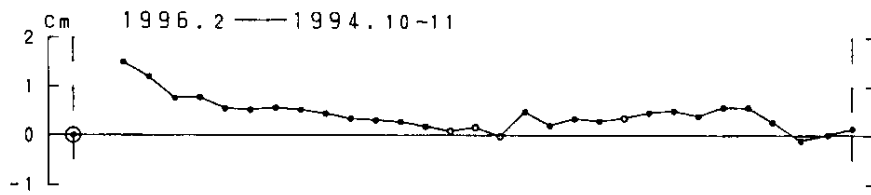
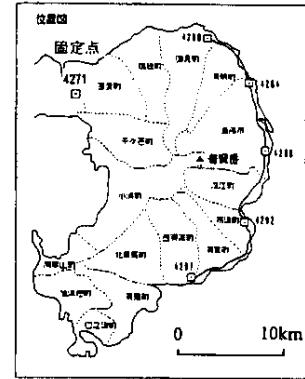
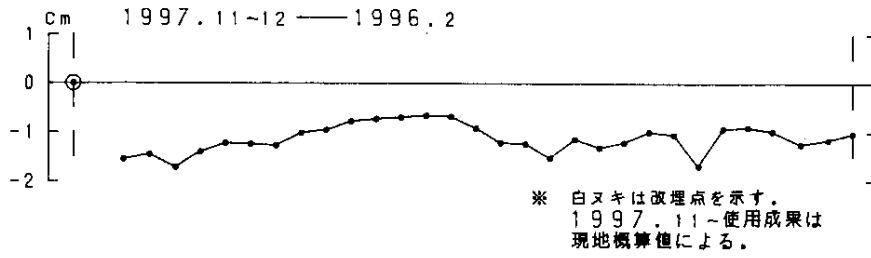
Fig.1 Vertical movements of the Shimabara peninsula.(1)



第2図 島原半島の上下変動(2)

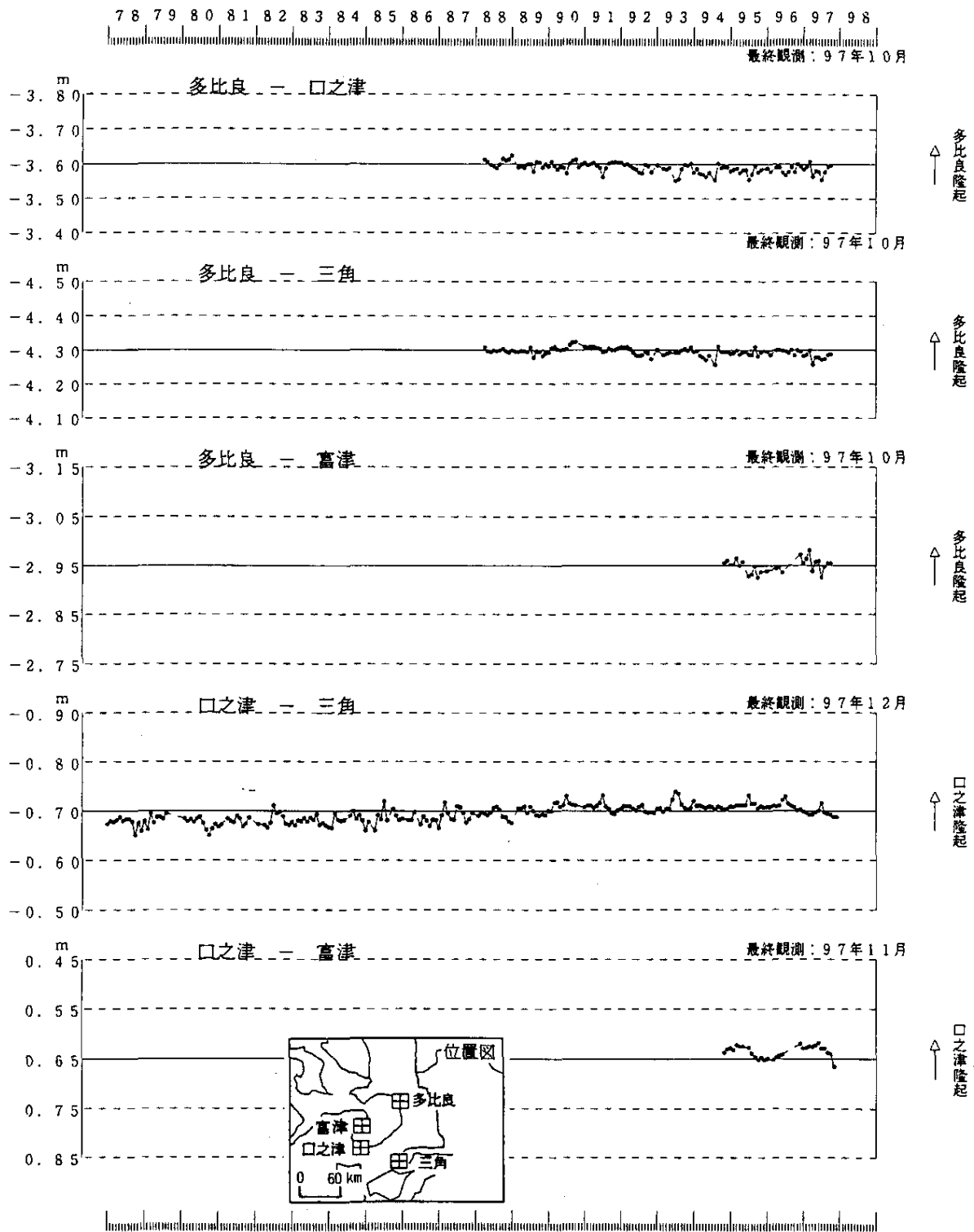
Fig.2 Vertical movements of the Shimabara peninsula.(2)

田原港 ← 4271
 田原市 ← 4297
 田原市 ← 4296
 田原市 ← 4295
 田原市 ← 4294
 田原市 ← 4293
 田原市 ← A112
 田原市 ← 4292
 田原市 ← A111
 田原市 ← 4291
 田原市 ← A110
 田原市 ← A109
 田原市 ← 4290
 田原市 ← A108
 田原市 ← 4289
 田原市 ← A107
 田原市 ← A106
 田原市 ← 4288
 田原市 ← A105
 田原市 ← 4287
 田原市 ← ZM
 田原市 ← A104
 田原市 ← 4286
 田原市 ← A103
 田原市 ← 4285
 田原市 ← A101
 田原市 ← 4284
 田原市 ← 4283
 田原市 ← 4282
 田原市 ← 4281
 田原市 ← 4280



第3図 島原半島の上下変動(3)

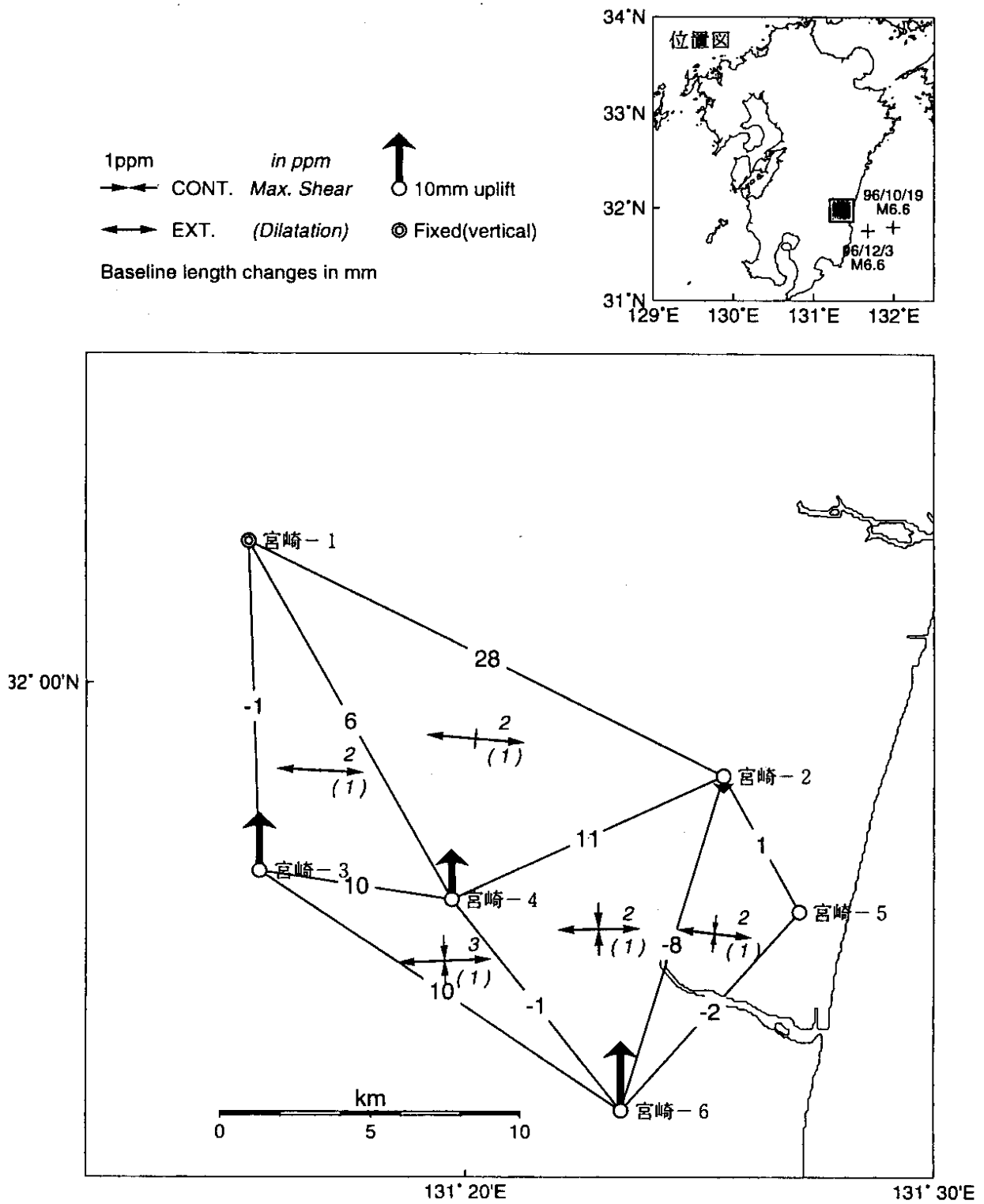
Fig.3 Vertical movements of the Shimabara peninsula.(3)



第4図 有明海沿岸の験潮場間の月平均潮位差

Fig.4 Differences in monthly mean sea levels between tidal stations of Ariake bay.

1998.2 - 1995.11



第5図 宮崎地区機動観測結果

Fig.5 Results of the precise GPS measurement in the Miyazaki district.